

## 【令和3年3月度番組審議会 議事録】

1. 開催年月日 令和3年3月26日（金） 15時00分～16時00分

2. 開催場所 八尾市文化会館プリズムホール 4階 会議室2

### 3. 委員の出席

番組審議委員総数	5名
出席委員数	5名
欠席委員数	0名

放送事業者	社 長	根木 幸男
	総務部長	比良 純高
	業務部長	鈴木 昌宏
	総 務	村田 季世子

4. 議 題 1) 案件 「八尾市からのお知らせ」（A Iアナウンサー導入部分）

5. 番組概要 放送日：2021年3月1日（月） 8：30 ～ 9：00

### 番組について

#### 放送形態

事前収録番組

#### 業務部（編成）より

この番組は、開局以来続く八尾市提供枠の基幹番組。

八尾市が発行する市政だよりからの情報を中心にアナウンサーが情報を読み上げている。2020年11月よりA Iアナウンサーを導入し、急病診療や夜間小児救急受付窓口、病院の紹介など緊急性の高い重要情報を、3か国語自動翻訳を行い多言語で放送を行っている。

コロナ感染拡大のため、外国人居住者への緊急性の高い情報提供を目指し、まず英語・韓国語・中国語の3言語からスタート。ベトナム語・タイ語を現在追加検討中。弊社が導入したA Iアナウンサー「ナナコ」は、FM和歌山が開発し全国の放送局で導入されている。大阪府下では初の本格導入となった。

### 6. 審議委員からの意見

#### 1) 案件

委員：・自動翻訳機ということですが間違いはないのか、直訳の問題などもあるがネイティブの人が聞いて違和感はないのかが気になった。

・ちょっと早口ではないか。

- ・構成ですが、情報の内容により3つのブロックに分けて、そのブロック毎に日本語、英語、韓国語、中国語で放送されていたため、内容がとぎれとぎれになり情報がつかみにくかった。
- ・全体の時間16分を言語ごと4分ずつに分けて放送してみてもどうか。
- ・取り組みとしては価値のあることだと思う。言語についても検討していただき、今後も有意義な内容のある放送をお願いします。

委員：・AIアナウンサーに関しては、電話番号以外は思ったより機械独特の冷たい喋りではなく、ぬくもりが感じられてクオリティが高いと思った。が、AIアナウンサーの後にパーソナリティ（川口さん）の声が流れたときに、やっぱり人の声とは違うと改めて感じたのでまだまだ開発の余地はあるのかなと思う。

委員：・同じ言語ごと一括して情報を流した方が良いのではないかと。電話番号を案内しているが、この放送を聞いて電話をした時に、電話を受けた医療機関等はきちんと対応ができていのか気がになった。

- ・少し訛ったイントネーションが気になる部分もあったが、AIなので今後に期待したい。

委員：・AIアナウンサーの喋りは、意外に自然で、思っていたよりは聞き取り易いと思ったが、数字やイントネーションに関しては少し気になる部分があった。

- ・原稿の打ち込みさえすれば設定した言語で、何時間でも勝手に喋ってくれる。災害時など危機的な状況においての放送としては、情報を的確に伝達するという手段としての安定性は高く適していると思う。

委員：・外国の方が放送を聞いて電話をしても電話を受ける側がきちんと対応できなければ意味がないので、電話番号を伝える必要はなく一方通行で情報のみを流す方が良いのではないかと。災害時に必要な情報を、人がいなくてもパソコンから発信できるということはとても良い。言語に関しては、韓国語しか喋れない人はほとんどいないと思う。韓国語での放送をする必要性はあるのか。母国語しか喋れない人をリサーチしてニーズに合った言語、八尾市ではベトナム語や、中国語などが必要なのではないか。必要な言語に絞って放送をした方が良い。

本日お聞かせいただいたご意見を受け止め、今後もより良い番組作りに努めて参ります。

## 7. 公表方法

今回開催された番組審議会内容は、公式HP掲載をはじめ、自社放送内広報および本社事務所へ閲覧用ファイルを設置いたします。